

# 連携・協働の力・タ・チ

令和元年10月24日発行 福島県教育庁会津教育事務所



## 猪苗代湖の水環境改善に取り組む「地域貢献活動」

猪苗代町立翁島小学校

翁島小学校では、教育課程に「水環境学習」を位置付けて、県や町、地域で活動している団体等と連携・協力しながら、次のテーマを掲げて、猪苗代湖の水質改善のための学習や活動に全校生で取り組んでいます。

〈学習テーマ〉 「美しい猪苗代湖を取り戻すために一人ひとりが考え、実行しよう！」  
～ 循環型の水質環境改善活動の実現を目指して ～

上記テーマのもと、1・2年生では、猪苗代湖への関心を高めるため、生活科や学校行事と関連付けながら、教科横断的に水環境の学習等に取り組んでいます。

3～6年生では、総合的な学習の時間を中心に、猪苗代湖の水環境学習に計画的・段階的に取り組んでいます。



### アサザの移植をする6年生

今年8月、6年生の子どもたちが、猪苗代湖の北岸で「猪苗代湖の自然を守る会」の方々の指導のもと、湖水の浄化作用がある浮遊植物のアサザの苗を移植しました。

9月には、4年生以上の子どもたちが、水質悪化の一因とされるヒシの回収を行い、10月には5・6年生が、湖岸のヨシ刈り等を行いました。

11月には、5年生の子どもたちが、活動の成果を「猪苗代湖子ども交流会2019」等で発表します。



## この実践から学ぶポイント！

翁島小学校の「水環境学習」の目標の一つに次のものがあります。

猪苗代湖の現状と課題をとらえ、猪苗代湖の水質改善・環境保護のために何ができるのかを主体的に考え行動する実践力を育てる。（※下線は発行者）

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が重視されました。よりよい学校づくりを通じてよりよい社会づくりを目指し、学校も地域に貢献していくことがより一層求められます。上記目標の下線部は、まさに、地域貢献で求められる態度、資質・能力であり、翁島小学校の取組は、「地域貢献活動」のモデルとして大いに参考になる素晴らしい実践です。